



2026年3月期第1四半期
決算説明会資料



株式会社ウッドワン
2025年8月26日

● 東証スタンダード市場（証券コード7898）

（2025年3月31日時点）

商号	株式会社ウッドワン
所在地	広島県廿日市市木材港南1-1
設立	1952年4月
資本金	7,324百万円
事業内容	住宅建材設備事業・発電事業
従業員数	単体 1,179名（連結 2,178名）
国内営業拠点	東京・名古屋・大阪・福岡など全国45拠点
国内製造拠点	本社（廿日市）・豊橋・蒲郡



国内



海外



グループ会社

株式会社ベルキッチン（岐阜県瑞浪市）

株式会社フォレストワン（広島県廿日市市）

※主要製造拠点は広島県庄原市

株式会社ウッドジョイ（広島県廿日市市）

ニュージーランド子会社 / Juken New Zealand Ltd.

フィリピン子会社 / Juken Sangyo(Philis.)Corp.

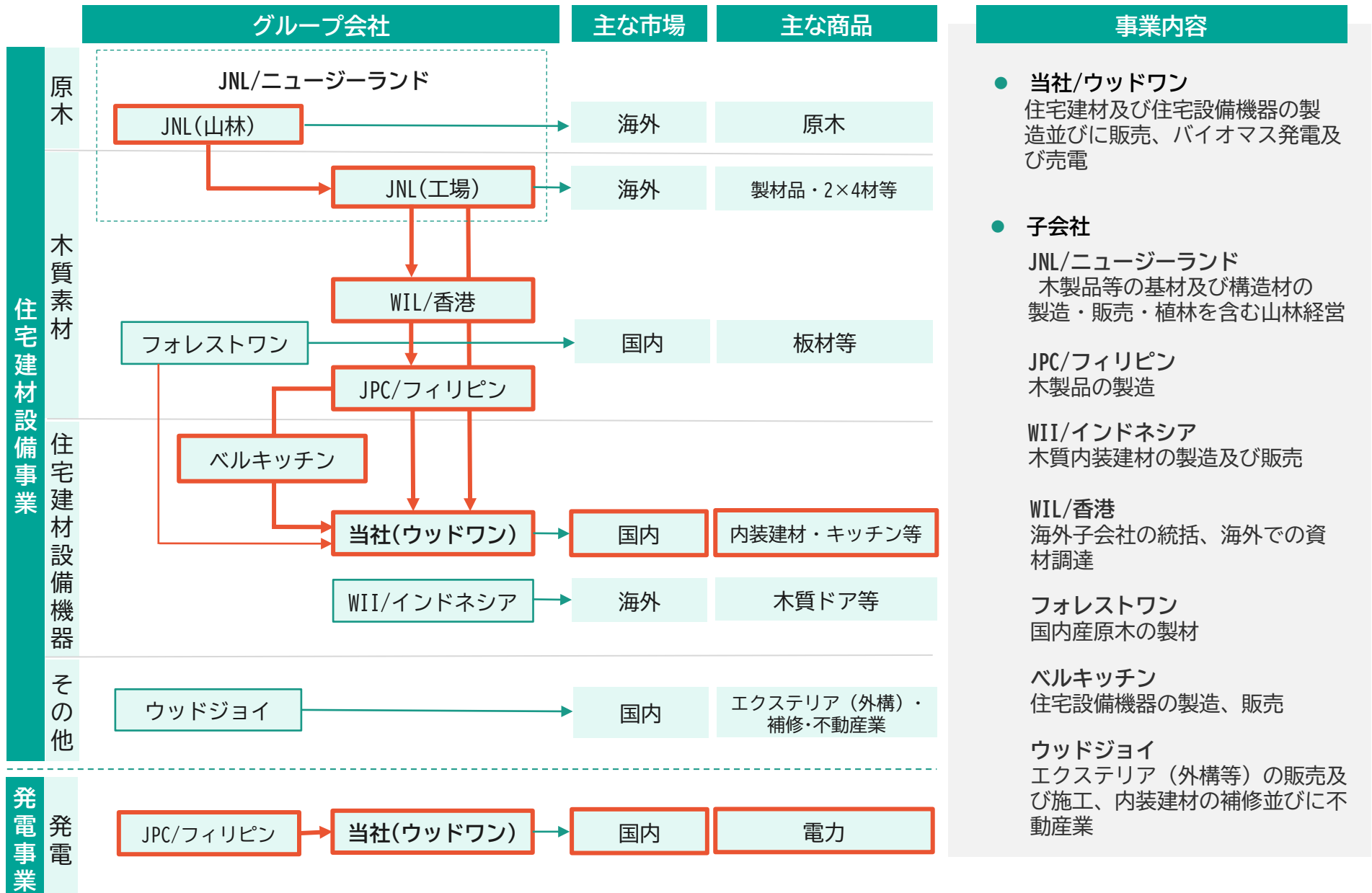
香港子会社 / 沃達王国際有限公司

インドネシア子会社 / PT. Woodone Integra Indonesia

事業系統図

→ グループ間取引
→ グループ外取引

当社の主要な商流【一貫生産販売体制】



経営環境

- 2025年4月に施行された改正建築基準法の影響を受け、当社グループの主力販売市場である日本国内の持家と分譲戸建住宅を合わせた着工戸数が、前年を大きく下回る水準で推移。（現状は大きな影響は出ていないものの、7月以降の当社売上に影響する可能性）
- 売上原価に対する影響度が高いNZDは、前年同期末97.82円/NZDから当期末87.71円/NZDとなり、前年同期比では円高NZD安で推移（期初比では円安NZD高）。

住宅建材 設備事業

- 国内は、住宅需要の低下や物価上昇によるコスト高が続いたものの、前期9月に実施した価格改定効果およびリフォーム・非住宅分野での売上増加により、前年同期比で増収。
- 海外は、ニュージーランド子会社の売上が減少した一方、インドネシア子会社においては米国向け販売が好調に推移。

発電事業

- 発電事業は、バイオマス燃料の需要が増え続ける中、依然、燃料代は高止まりしているものの、製造経費が大きく減少し、前年同期比で増益。

(百万円)

	2025/3期 1 Q	2026/3期 1 Q	前期比
売上高	15,890	15,774	△116
売上総利益	3,976	4,148	+172
粗利率	25.0%	26.3%	+1.3pt
販管費	4,114	4,108	△6
販管費比率	25.9%	26.0%	+0.1pt
営業利益	△138	39	+178
経常利益	412	428	+15
当期純利益	86	352	+265
期末為替レート NZD/JPY	97.82	87.71	△10.11

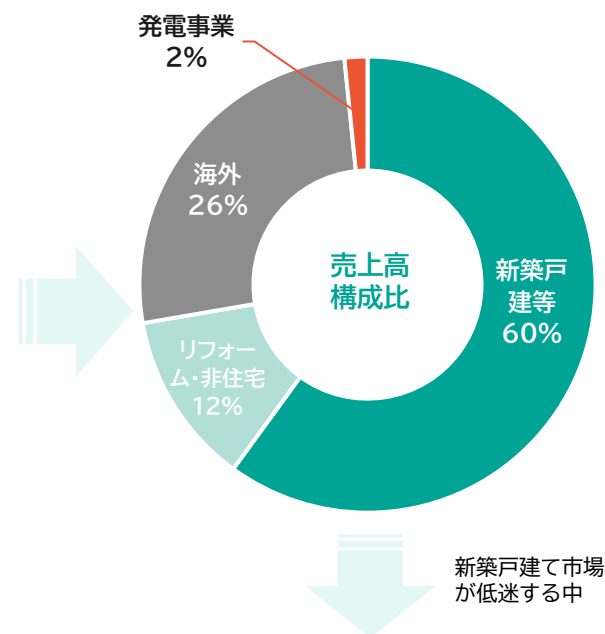
ポイント

- 国内外の住宅需要が低調の中、国内およびインドネシア子会社の売上が増加した一方、ニュージーランド子会社の売上が減少し、全体としては減少。
- 前期9月に実施した国内の価格改定効果およびインドネシア子会社の同国国内、欧米市場への売上が増加したことにより粗利率が改善し、営業利益は増加。
- 営業外の為替差益の減少により、経常利益は横ばい。

【参考】営業外収益 前期：補助金収入 330百万円
 当期：排出権収入 314百万円
 補助金収入 50百万円

(百万円)

	2025/3期 1Q	2026/3期 1Q	前期比
売上高※	15,900	15,784	△116
・住宅建材設備事業	15,645	15,528	△117
国内 新築戸建等	9,604	9,473	△131
リフォーム・非住宅	1,660	1,937	+277
海外 ニュージーランド子会社	3,328	2,553	△774
インドネシア子会社	1,043	1,556	+513
その他	8	6	△2
・発電事業	254	256	+1
営業利益	△138	39	+178
住宅建材設備事業 合計	△148	△5	+142
発電事業 合計	9	45	+35



基本戦略

- ・ 新築戸建等（高付加価値商品の拡販）
- ・ リフォーム、非住宅の開拓
- ・ 海外市場の開拓

※売上高にはセグメント間の内部取引を含む。

連結貸借対照表の状況

(百万円)

	2025/3期 4Q	2026/3期 1Q	増減	為替影響除き	増減要因
流動資産	29,453	30,789	+1,335	+1,517	
現預金	5,440	4,547	△892	△834	
棚卸資産	14,805	15,139	+334	+313	
受取勘定他	9,208	11,101	+1,893	+2,038	前期JNLギスボン工場売却債権（長短振替）
固定資産	72,653	72,370	△282	△990	
立木	22,019	22,875	+855	+216	
その他固定資産	50,633	49,495	△1,137	△1,207	前期JNLギスボン工場売却債権（長短振替）
資産合計	102,106	103,160	+1,053	+526	
流動負債	31,111	31,916	+805	+782	
有利子負債	19,545	20,356	+810	+731	
支払勘定他	11,566	11,560	△5	+50	
固定負債	25,380	25,327	△52	△311	
有利子負債	20,384	20,354	△29	△204	
その他	4,996	4,973	△23	△107	
有利子負債合計	39,929	40,710	+781	+527	設備投資や山林投資資金の調達
負債合計	56,492	57,244	+752	+470	
純資産合計	45,614	45,915	+301	+55	
負債純資産合計	102,106	103,160	+1,053	+526	

2026年3月期の業績予想・配当予想

(百万円)

連結業績	2026/3期 通期予想	2026/3期 1Q	通期予想比 進捗率
売上高	66,000	15,774	23.9%
営業利益	1,100	39	3.6%
経常利益	600	428	71.5%
当期純利益	300	352	117.6%



業績予想等に対する進捗

- 売上高は、全体としては概ね計画どおりに進捗。内訳は、国内は当社が計画を上回る進捗。海外はニュージーランド子会社が計画を下回った一方、インドネシア子会社は好調が見込まれていた中で概ね計画どおりに進捗。
- 利益面は、営業利益がやや計画を上回る進捗。経常利益および当期純利益は、営業利益の上振れに加え、排出権収入の計上もあり、計画を上回る進捗。
- 国内住宅市況や為替変動、米国の関税措置など不透明な要素が多いため、現時点で業績予想・配当予想は据え置き。（※米国の関税政策の業績影響については、次ページに詳細を記載）

配当予想：変更なし

(円)

配当	2025/3期	2026/3期 予想
中間	12.00	12.00
期末	12.00	12.00
合計	24.00	24.00
配当性向	12.6%	74.5%

- 米国の関税政策による当社グループ業績への影響について、以下のとおりお知らせいたします。

対象取引	インドネシア子会社の米国向け販売。
インドネシアと米国との関税交渉の結果	2025年7月16日に発表され、当初提示されていた32%から19%へと大幅に引き下げられて合意。
米国市場での競合国	中国および南米など。
現状および今後の見通し	足元では、比較的関税率が低いインドネシア子会社に競合他国からの一部受注が流れてきており、売上や利益の増加につながっている状況にあるものの、今後の競合他国メーカーに課される関税次第でインドネシア子会社の競争条件も変わりうるため、現時点では米国関税措置の影響は業績予想に織り込んでおりません。 今後開示すべき事項が発生した場合には速やかに開示いたします。



2026年3月期第1四半期
決算補足資料



木を育み、木の恵みを受け取る、木と人のgood communication

ウッドワン価値創造の軌跡

強み

1

苗木づくりから家づくりまで住宅事業の展開

広島に林業を起し、建材の加工・製造、建築部材の設計・生産を行う木質総合建材メーカーとして70年余の歴史を刻んできました。

強み

2

木を知り木を科学する

自ら育てた木を高度な加工技術でさらに建材として適材適所に活かすウッドワンでは、木を究めたプロフェッショナル人材を育成。素材の持ち味を引き出しながら強度・耐震性など機能面でも優れた建材に再生させてきました。

強み

3

40,000haの森林を経営

国内だけでなく海外の森林を調査し、1990年代からニュージーランドに良質なニュージーパイン。の森林を取得。再生可能な資源である森林を育む植林、間伐、伐採を30年周期で繰り返しながら事業を展開し、国産材とともにクリーン調達、安定供給しています。

強み

4

省施工・省資源の推進

少子高齢化等の社会構造の変化に伴い、大工や職人の減少が社会課題となっています。ウッドワンは省施工商品の開発や、施工現場の独自の廃材削減を通じて課題解決に取り組んでいます。

強み

5

高付加価値商品で世界を豊かに

1本の木を無駄なく利用し、化学物質などシックハウス症候群の原因を取り除いて自然な木材のぬくもりをお届けする「ウッドワン」は人に優しい高付加価値商品で世界を豊かにしています。

…1960

1970

1980

1990

2000

2010

2020

1935年

広島県に木材業創業

1952年

南中本林業設立、1960年に株式会社に組織変更

1967年

わが国初の超大型合板プラントによる長尺合板縁甲板「フロンク」生産開始

1969年

㈱住建産業へ社名変更

1970年

蒲郡工場新設

1970年

豊橋工場新設

1974年

長尺合板壁材「羽目ロング」発売

1980年

LVL工場、集成材工場完成

1984年

新造作材工場完成

1990年

ニュージーランドに現地法人設立

1992年

ニュージーパイン。の無垢材を使った無垢ドア「ジュビーノシリーズ」発売

1999年

フィリピンに現地法人設立

2002年

㈱ウッドワンに社名変更

2006年

株式会社ベルテクノ(現ベルキッチン)を子会社化

2008年

ウッドワンブランドで初のシステムキッチン「スイージー」発売

2009年

ニュージーランドの全森林・全工場で森林認証を取得

2010年

国内外の木質建材関連工場で森林認証を取得

2010年

内装材全種で「4VOC基準適合」(木質建材)に登録

2015年

バイオマス発電設備新設。発電事業参入

2018年

インドネシアの現地法人を子会社化

2022年

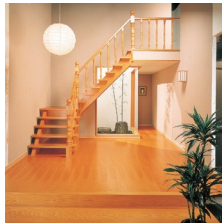
広島県庄原市と立地協定を締結

2024年

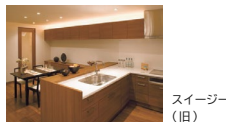
建材新シリーズ「WO Timeless standard collection」発表



「フロンク」の廊下



LVL 階段 (銘木樫)



スイージー (旧)



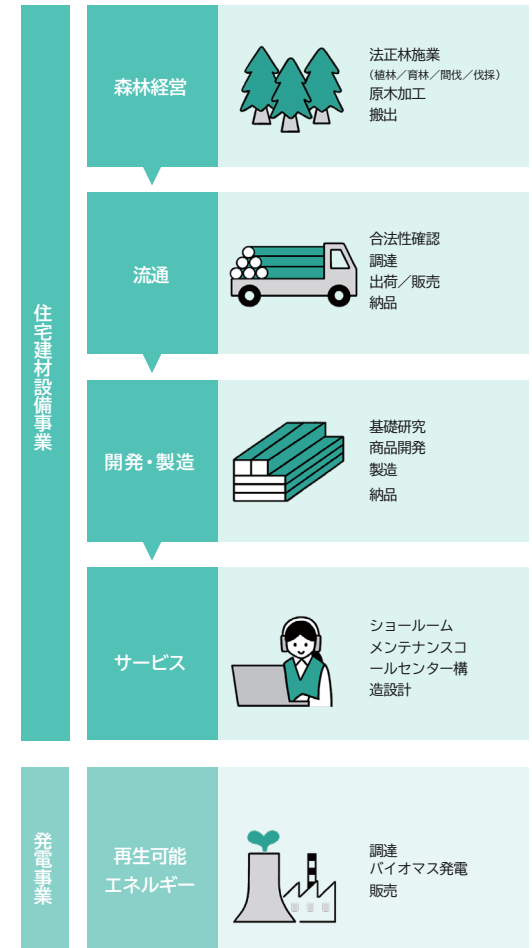
「WO Timeless standard collection」

木と、人の、GOODな関係。 ウッドワンのバリューチェーン

私たちウッドワンは創立70余年、木と共に歩んできた木質総合建材メーカーです。
半世紀以上にわたり培ってきた、森林に対する豊富な知識と、高度な加工技術を基盤に
森の育成から加工・販売までの全フィールドを活動の場としています。
森と人の共生 = 「木 (wood) と、人 (one) のよりよい関係」を掲げ、
グローバルな視点から、人と自然、社会、そして未来に貢献します。



バリューチェーン



1本の木を余すことなく使いきる

ウッドワンでは、脱炭素の担い手である森林を育て、そこから資源としての木材を有効に活用するために、自ら植えて育てたニュージーパイン®のあらゆる部位を、建築用材に加工しています。目をかけ、手をかけ、大切に育ててきた木だからこそ、適材適所で活用し、余すことなく使いきる。それがウッドワンの商品開発のスタイルです。

樹高で分ける適材適所の部材生産

■ 高強度のボードとして

ビスの保持力が高いストランド（木の薄片）層を表面平滑性に優れたファイバー層で挟み込んだ三層構造ボードは、たわみが少ない高強度素材で、クローゼットの扉や押し入れ中段の基材などの内装材として最適です。



■ トライウッド。
ストランド（木の薄片）層をファイバー層で挟み込んだ三層構造ボード

■ 合板・単板積層材として

単板積層材は、強度にバラつきが少なく、反りや狂いも少ないので、床の下地材などに活用できる建材です。住宅の構造材としても用いられます。



■ LVL
（Laminated Veneer Lumber）
単板の繊維方向を平行に揃え接着した単板積層材

■ 無垢材、集成材として

無垢材は床材やドアなどの建材として用いられます。集成材は無垢材や挽き板、小角材などを集成接着したもので、キッチン扉などさまざまな建材として活用されます。



■ 無垢材
自然の木の魅力を最大限に活かした住宅用高級建材



■ 集成材
挽き板や小角材などを集成接着した、応用力豊かな建材

主要なブランド・商品

私たちの強みは、自ら木を育て、加工・販売までを行う一貫生産スタイルです。商品の完成形を見据え、最適な木を育てられるということです。自ら育てた木だからこそ、その長所も短所も熟知しています。「木」を知り尽くしたプロとして、素材が持つ木の面白さ、日本人の暮らしに深く根ざす木のぬくもりを、未来へ伝えていきます。

ピノアース

■ 苗木から育てた木のぬくもりを

ニュージーランドで計画的に植林されたニュージーパイン®を使用した無垢シリーズです。木の素材感を最大限活かす「浮造り仕上げ」が特徴的で、無垢材の持つ温かさ、優しさを最大限に活かしたシリーズです。



ピノアースシリーズ
（ドア、床材、階段）

su:iji [スイージー]

■ 木を育てている会社で作る木のキッチン

湿度が高くて素足で住まう日本文化では、古くから調湿作用、断熱効果を持つ「木」が愛されてきました。何十年たっても使い続けられる上質な素材を厳選し、ひとつずつ丁寧に人の手で作られたキッチンです。

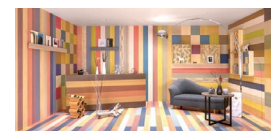


su:iji [スイージー]
ニュートラルカラー

木十彩 [KITOIRO]

■ 素のままよりも、楽しい

質のよい本物の木に彩をプラス。鮮やかな色彩や豊富なデザインで、木を取り入れた空間のアイデアがさらに広がります。



木十彩 [KITOIRO]
（床材、壁材、長押）

無垢の木の収納

■ 自由に組み合わせ、たのしく仕舞う

部屋全体を包み込む無垢の木の優しさ。お部屋のインテリアや収納物に合わせて自由に組み合わせ、自分好みのオリジナル収納を作ることが可能です。



無垢の木の収納

四半期連結業績



(百万円)

	2025/3期					2026/3期				
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	年間	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	年間
売上高	15,890	15,936	17,095	16,234	65,157	15,774	—	—	—	15,774
売上総利益	3,976	4,370	4,781	4,548	17,676	4,148	—	—	—	4,148
粗利率	25.0%	27.4%	28.0%	28.0%	27.1%	26.3%	—	—	—	26.3%
販管費	4,114	3,946	4,362	3,941	16,366	4,108	—	—	—	4,108
販管費比率	25.9%	24.8%	25.5%	24.3%	25.1%	26.0%	—	—	—	26.0%
営業利益	△138	423	418	607	1,310	39	—	—	—	39
営業利益率	△0.9%	2.7%	2.4%	3.7%	2.0%	0.3%	—	—	—	0.3%
経常利益	412	△111	80	155	537	428	—	—	—	428
経常利益率	2.6%	△0.7%	0.5%	1.0%	0.8%	2.7%	—	—	—	2.7%
当期利益	86	74	724	891	1,777	352	—	—	—	352
当期利益率	0.5%	0.5%	4.2%	5.5%	2.7%	2.2%	—	—	—	2.2%

セグメント別売上

● セグメント別四半期売上推移

(百万円)

	2025/3期					2026/3期				
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	年間	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	年間
国内/新築戸建等	9,604	9,727	10,913	10,203	40,449	9,473	—	—	—	9,473
国内/リフォーム・非住宅	1,660	1,984	2,263	1,881	7,789	1,937	—	—	—	1,937
海外/JNL(ニュージーランド)	3,328	2,970	2,654	2,046	11,000	2,553	—	—	—	2,553
海外/WII(インドネシア)	1,043	981	982	1,856	4,864	1,556	—	—	—	1,556
海外/その他	8	11	9	9	38	6	—	—	—	6
住宅建材設備事業 計	15,645	15,675	16,822	15,997	64,141	15,528	—	—	—	15,528
発電事業 計	254	271	283	245	1,055	256	—	—	—	256
セグメント合計	15,900	15,947	17,106	16,243	65,197	15,784	—	—	—	15,784
調整	△10	△10	△10	△8	△39	△10	—	—	—	△10
合計	15,890	15,936	17,095	16,234	65,157	15,774	—	—	—	15,774

● 国別四半期売上推移

(百万円)

	2025/3期					2026/3期				
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	年間	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	年間
日本	11,604	12,102	13,492	12,331	49,532	11,719	—	—	—	11,719
ニュージーランド※	3,109	2,731	2,443	1,960	10,245	2,377	—	—	—	2,377
英国	587	521	433	678	2,220	624	—	—	—	624
米国	284	219	319	803	1,627	698	—	—	—	698
その他	303	362	405	461	1,532	353	—	—	—	353
合計	15,890	15,936	17,095	16,234	65,157	15,774	—	—	—	15,774

※ニュージーランド国内市場向けの売上に加え、同国内の顧客を通じて中国など海外へ販売されるものも含まれる。

セグメント詳細①

セグメント			業績概要等	売上高推移（百万円）	主要な施策																								
住宅建材設備事業	国内	新築戸建等／リフォーム・非住宅	● 新築戸建て売上は、住宅市況が低調の中、若干の減少にとどめた。 ● リフォーム・非住宅売上は、前年同期比17%増加。	■新築戸建て ■リフォーム・非住宅 <table><thead><tr><th>期間</th><th>新築戸建て</th><th>リフォーム・非住宅</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>2022/3 1Q</td><td>10,351</td><td>1,403</td><td>11,755</td></tr><tr><td>2023/3 1Q</td><td>10,828</td><td>1,511</td><td>12,340</td></tr><tr><td>2024/3 1Q</td><td>10,459</td><td>1,678</td><td>12,137</td></tr><tr><td>2025/3 1Q</td><td>9,604</td><td>1,660</td><td>11,264</td></tr><tr><td>2026/3 1Q</td><td>9,473</td><td>1,937</td><td>11,411</td></tr></tbody></table>	期間	新築戸建て	リフォーム・非住宅	合計	2022/3 1Q	10,351	1,403	11,755	2023/3 1Q	10,828	1,511	12,340	2024/3 1Q	10,459	1,678	12,137	2025/3 1Q	9,604	1,660	11,264	2026/3 1Q	9,473	1,937	11,411	★無垢商品や省施工商品といった付加価値が高い商品を核とした内装建材等の拡販 ★リフォーム・非住宅市場や海外市場といった新たな市場のさらなる開拓
	期間	新築戸建て	リフォーム・非住宅	合計																									
2022/3 1Q	10,351	1,403	11,755																										
2023/3 1Q	10,828	1,511	12,340																										
2024/3 1Q	10,459	1,678	12,137																										
2025/3 1Q	9,604	1,660	11,264																										
2026/3 1Q	9,473	1,937	11,411																										
海外	ニュージーランド子会社	（原木販売） ● 林地残材処理に伴う伐採業者の一時的な人手不足の影響で原木の伐採量が減少したことや円高NZD安により、売上高は前年同期比で6.2億円減少。 （木質素材販売） ● NZD建ての売上は前年同期比で増加したものの、円高の影響により売上高は1.5億円減少。	■原木 ■木質素材 <table><thead><tr><th>期間</th><th>原木</th><th>木質素材</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>2022/3 1Q</td><td>1,370</td><td>1,820</td><td>3,191</td></tr><tr><td>2023/3 1Q</td><td>1,294</td><td>1,515</td><td>2,810</td></tr><tr><td>2024/3 1Q</td><td>2,034</td><td>1,202</td><td>3,237</td></tr><tr><td>2025/3 1Q</td><td>2,029</td><td>1,299</td><td>3,328</td></tr><tr><td>2026/3 1Q</td><td>1,406</td><td>1,147</td><td>2,553</td></tr></tbody></table>	期間	原木	木質素材	合計	2022/3 1Q	1,370	1,820	3,191	2023/3 1Q	1,294	1,515	2,810	2024/3 1Q	2,034	1,202	3,237	2025/3 1Q	2,029	1,299	3,328	2026/3 1Q	1,406	1,147	2,553	★生産移管・集約化 海外工場（JNL・JPC）・国内工場を含めた一貫生産体制の再編成	
期間	原木	木質素材	合計																										
2022/3 1Q	1,370	1,820	3,191																										
2023/3 1Q	1,294	1,515	2,810																										
2024/3 1Q	2,034	1,202	3,237																										
2025/3 1Q	2,029	1,299	3,328																										
2026/3 1Q	1,406	1,147	2,553																										

セグメント詳細②

セグメント			業績概要等	売上高推移（百万円）	主要な施策																														
住宅建材設備事業	海外	インドネシア子会社	● 米国の新規開拓が順調に進捗し、同国向け売上高が前年同期比158%増加。	■ 英国 ■ 米国 ■ その他 <table><thead><tr><th>Quarter</th><th>UK</th><th>US</th><th>Others</th><th>Total</th></tr></thead><tbody><tr><td>2022/3 1Q</td><td>448</td><td>154</td><td>63</td><td>603</td></tr><tr><td>2023/3 1Q</td><td>579</td><td>47</td><td>205</td><td>833</td></tr><tr><td>2024/3 1Q</td><td>377</td><td>4</td><td>190</td><td>573</td></tr><tr><td>2025/3 1Q</td><td>587</td><td>270</td><td>184</td><td>1,043</td></tr><tr><td>2026/3 1Q</td><td>624</td><td>698</td><td>232</td><td>1,556</td></tr></tbody></table>	Quarter	UK	US	Others	Total	2022/3 1Q	448	154	63	603	2023/3 1Q	579	47	205	833	2024/3 1Q	377	4	190	573	2025/3 1Q	587	270	184	1,043	2026/3 1Q	624	698	232	1,556	★海外販売の強化 インドネシア国内+英国・米国・豪州などでの販売拡大
		Quarter	UK	US	Others	Total																													
2022/3 1Q	448	154	63	603																															
2023/3 1Q	579	47	205	833																															
2024/3 1Q	377	4	190	573																															
2025/3 1Q	587	270	184	1,043																															
2026/3 1Q	624	698	232	1,556																															
発電事業	国内	—	● 電気事業者からの「出力制御」の要請が前年同期に比べて減少したことにより、売上高が若干増加。	■ 発電事業 <table><thead><tr><th>Quarter</th><th>Power Business</th></tr></thead><tbody><tr><td>2022/3 1Q</td><td>299</td></tr><tr><td>2023/3 1Q</td><td>281</td></tr><tr><td>2024/3 1Q</td><td>247</td></tr><tr><td>2025/3 1Q</td><td>254</td></tr><tr><td>2026/3 1Q</td><td>256</td></tr></tbody></table>	Quarter	Power Business	2022/3 1Q	299	2023/3 1Q	281	2024/3 1Q	247	2025/3 1Q	254	2026/3 1Q	256	★燃料の安定調達および環境負荷に配慮した持続可能な安定稼働																		
Quarter	Power Business																																		
2022/3 1Q	299																																		
2023/3 1Q	281																																		
2024/3 1Q	247																																		
2025/3 1Q	254																																		
2026/3 1Q	256																																		

● 新設住宅着工戸数推移（千戸）

	2024/1～2024/12					2025/1～2025/12					1-3月 前期比
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	合計	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	合計	
持家	48	54	59	57	218	53	42	—	—	—	110.3%
分譲戸建	30	31	30	31	121	31	24	—	—	—	103.8%
合 計	77	85	88	88	339	83	66	—	—	—	107.8%

- 住宅着工件数は、当社の住宅建材設備需要を示す先行指標で、着工から売上まで約3ヵ月程度のタイムラグが生じる。

● 為替レート推移

	2024/1～2024/12				2025/1～2025/12				前期比
	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末	
NZD/JPY	90.50	97.82	90.75	89.17	85.26	87.71	—	—	△10.11
USD/JPY	151.41	161.07	142.73	158.18	149.52	144.81	—	—	△1.89

- NZD/JPY：ニュージーランド子会社の売上原価に係る連結上のJPY換算額に影響。
- USD/JPY：インドネシア子会社の営業利益に係る連結上のJPY換算額に影響。決算期は12月で、連結決算日との間に3ヵ月のずれがある。

● 政策金利（％）

	2025/3期				2026/3期				期末比	前期比
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末		
ニュージーランド	5.50	5.25	4.25	3.75	3.25	—	—	—	△0.50	△2.25

- NZD/JPYの為替変動およびニュージーランド子会社の支払利息に影響。
- ニュージーランド国内の新規住宅着工件数および住宅関連需要に影響。